

質的研究入門 —原理・方法・実践—

日本語教育において、近年、学習者や教室の生き生きとした様を描くために質的な研究が注目されています。しかし、現実には、データをとったもののその後、どのように扱ったらよいかわからないという声も多く聞きます。そこで昨年に引き続き、質的研究法の研修を行います。

今回はまず質的研究とはどのようなものかを解説した上で、質的なデータ分析の基本とMAXQDAというソフトを使った方法を紹介します。みなさんの研究において、なぜ質的研究なのか、どのように質的なデータを分析するのかを考えるための入門講座です。

- ◆日時：2012年10月7日（日）10:00～13:00（昼食休憩なし）
 - ◆内容：Ⅰ. 質的研究とは？—「7つのタイプの薄い記述」を超えて
Ⅱ. 定性的データ分析の基本+MAXQDA:基本篇
Ⅲ. MAXQDA:応用篇
 - ◆会場：桜美林大学四谷キャンパス 地下ホール（四ツ谷駅徒歩3分）
 - ◆アクセス/地図：<http://www.obirin.ac.jp/access/yotsuya/index.html>
 - ◆講師：佐藤郁哉氏（一橋大学大学院商学研究科）
 - ◆コーディネーター：齋藤伸子・古市由美子・館岡洋子（教師研修委員）
 - ◆対象：日本語教育経験のある方で、下記の事前課題ができる方。MAXQDA10体験版（無料）をインストールしたノートパソコン（3時間電源なしで使用可能なPC）をご持参ください。（MAXQDAはWindows OSのみに対応していますが、MacOSでも、BootCamp等で使用可能な場合があります。）
 - ◆定員：60名（先着順）
 - ◆参考文献：佐藤郁哉(2008)『質的データ分析法』新曜社
 - ◆事前課題：①～④までを全て研修前に各自でご準備ください。
 - ①「QDAソフトウェア入門」第Ⅰ,Ⅱ部を事前に、http://www.shin-yo-sha.co.jp/link/qda301_1.pdfから入手し、読んでおくこと。
 - ②MAXQDA10体験版（無料）をPCにインストールし、動作確認しておくこと（ダウンロード方法は上記の「QDAソフトウェア入門」に書いてあります）。
 - ③申込後にメール添付で送付する資料(PDF)と分析データを読み、データをPCにコピーしておくこと。
 - ④上記の各種資料は必要であれば事前にプリントアウトしておくこと（当日配布はいたしません）。
 - ◆受講料：会員2,000円、一般3,000円、学生1,500円 ※一度払い込まれた受講料はお返しいたしません。
 - ◆申込締切：2012年9月7日（金） ※定員になり次第、締切り日以前でも募集を終了いたします。
 - ◆申込方法：参加申込書を日本語教育学会ホームページ（<http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm>）よりダウンロードして記入し、メール添付かFAXで事務局までお送りください。メールで応募する場合、タイトルは「質的研究（10月7日）申込」としてください。
- ※参加申込書が到着次第、折り返しEメールにて受講料の振込口座等をご連絡いたします。参加申込書を送って1週間以上経ってもメールで連絡がない場合は、未着の可能性がございますので、お手数ですが再度ご連絡ください。
- ◆送付先と問合せ：（社）日本語教育学会 教師研修委員会事務局
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館2F
TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552 Eメール：kyoshikenshu@nkg.or.jp

